

1 我が国の立場

竹島は、歴史的事実に照らしても、かつ国際法上も明らかに我が国固有の領土であり、韓国による竹島の占拠は不法占拠。我が国は国際法にのっとり、冷静かつ平和的に紛争を解決する考え。

2 韓国国会議員の竹島上陸（平成30年11月26日）

【概要（関連報道より抜粋）】

11月26日、自由韓国党ナ・ギョンウォン議員を団長とする「国会独島訪問団」が竹島に上陸（注）。同訪問団の到着後、慰霊碑参拝、施設視察、「独島」警備隊長による現状報告を受け、警備隊員への激励を実施。同訪問団による竹島上陸は、2016年に続き2回目となる。

（注）上陸人数：与野党議員8名、記者団など約20名。

【我が国の対応】

我が国による事前の抗議・中止の申入れにもかかわらず、上陸が強行されたことは到底受け入れられないこととして、同日、以下のとおりそれぞれ嚴重に抗議。

（東京）金杉外務省アジア大洋州局長⇒金敬翰（私・ギョンハン）在京韓国大使館次席公使

（ソウル）水嶋在韓国大総括公使 ⇒金容吉（私・ヨンギル）外交部東北アジア局長

※これに先立つ11月21日、上陸計画が明らかになった際にも同様に抗議し、中止を強く求めた。

3 竹島防御訓練（平成30年12月13日～14日）

【概要（関連報道より抜粋）】

●昨年6月に続き、昨年において2回目の実施。

●海軍、空軍及び海洋警察等の艦艇8隻、航空機3機が参加。

【我が国の対応】

訓練が発表された直後、東京及びソウルにおいて、それぞれ嚴重に抗議、訓練の中止を求めた。

（東京）金杉外務省アジア大洋州局長⇒金敬翰（私・ギョンハン）在京韓国大使館次席公使

（ソウル）水嶋在韓国大総括公使 ⇒金容吉（私・ヨンギル）外交部東北アジア局長